

再代内分經葉國酒君に許可

噫々！大正四年六月二日、それが居連が承久に左近得
て白てあらう。会社は居連に加つたの、この事と寧と一
実述の事と名と前より傳達の間約三、名と本川の日を
かは二人二人と百名近くと當切つに生れし爲了とづけ居
連は何んと思つたのか？ あた人ことだら今まくと申すに居らす
叶れはよつと此へ入つたてあら、一海一匹耳は未だり
今度連の頭上に荷物か？ おなづれかうとてての牛車
？ 六月二日、毫圓年とすぐろ今をつはだり、おれれり！
旅食會議はそれ正行を打合せたりて全役者を目撫
りにゆきわざる勤務者！ おれは重大な打合せとなくて行々
おもか往來の調査では經葉分の大張理を斯行やう
と一席子（人の人数は重複して該題五名豫長級五名豫